

## 松浦武四郎誕生地までの案内地図



○松浦武四郎記念館から松浦武四郎誕生地までは距離約700m、徒歩で約7分です。

○途中、①小野江小学校のプールの壁に描かれた武四郎の壁画、②なんじゃもんじゃの木、③北海道から贈られたエゾヤマザクラ、④伊勢街道沿いの民家には伊勢参りの旅人でにぎわっていた頃を偲ばせる屋号の看板などを見させていただくことができます。

○誕生地の近くには、武四郎が手習いを学んだ真覚寺があり、雲出川の川端に建てられた常夜燈を含めて見学すると、記念館と合わせてちょうどよい散策コースになります。

### ① プール横の武四郎壁画

平成 17 年度に小野江小学校 6 年生の児童が卒業制作で作ったもので、武四郎が生まれてから亡くなるまでを描いたものです。



### ② なんじゃもんじゃの木

このあたりでは珍しい「ヒトツバダゴ」という木で、別名「なんじゃもんじゃ」といい、毎年 5 月上旬にきれいな白い花を咲かせます。



### ③ 北海道から届いたエゾヤマザクラ

平成 19 年から 22 年にかけて北海道新聞社が行った「北海道千本桜運動」で、平成 19 年に 5 本、20 年から 22 年に 10 本ずつ、合計 35 本のエゾヤマザクラの苗木を寄贈していただきました。何本かは枯れましたが、元気に育ち、まだ小さいですが毎年花を咲かせています。



### ④ 伊勢街道の屋号の看板

今では伊勢街道のかつてのにぎわいは想像できませんが、このあたりは須川村と呼ばれて、街道に沿って、旅籠や物をお店が並び、たくさんの旅人でにぎわいました。江戸時代の街道の雰囲気を感じてもらおうと、街道沿いのみなさんが協力されて、屋号の看板がかけられています。



### ⑤ 小野江南町集会所付近

おかげ参りの旅人には集団で来る人たちも多く、あまりの人の多さに仲間とはぐれる人もいたため、このあたりに「はぐれ人すくい会所」があり、はぐれた人を引き合わせる案内所になっていました。



### ⑥ 小野江村役場跡

今は空き地になっていますが、かつて小野江村役場があったところです。半鐘を吊るしたヤグラが建てられ、火事の際はその鐘を鳴らして火事を知らせました。今は誕生地の駐車場に使われています。



### ⑦ 松浦武四郎誕生地

伊勢街道に沿って建つ誕生地のあたりは、道路の溝がノコギリ状にギザギザになっており、溝の線に沿って家が建てられています。



### ⑧ 真覚寺

誕生地から少し先の細い路地を入ったところに、武四郎が 7 歳から字を書いたり、読んだりすることを学んだ「真覚寺」というお寺があり、実際に武四郎を教えた采庵和尚のお墓もあります。

